

報道関係者各位

令和5年9月7日

山梨県知事政策局リニア未来創造・推進グループ

リニア未来創造・推進監 鎌田 秀一

電話番号 055-223-1664(内線 1304)

第4期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業

【輝翠 TECH 株式会社】

農業用AIロボットの収穫物運搬実証をメディア公開します

日時：9月13日(水) 13時～14時00分 場所：勝沼醸造株式会社農場

山梨県（知事：長崎幸太郎）が実施している、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に伴走し、山梨県全域を対象にした実証実験を全面的にサポートする「第4期TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」において、採択された7事業者のうちの1つである「輝翠TECH株式会社」は、農業用AIロボットで収穫物の運搬を行う実証実験を実施します。

実証実験の様子をメディア公開いたしますので、実証の様子などをご取材いただけますようお願いいたします。

1 事業者

輝翠 TECH 株式会社

(<https://kisuitech.com/>)

本社：宮城県仙台市

代表：代表取締役 ブルーム タミル

概要：農業用AIロボットの開発・販売



リニアやまなしビジョン



2 実証実験の内容

人口減少と高齢化による農業の担い手不足を解消するため、山梨県のワイン用ぶどう栽培を行っている勝沼醸造株式会社の協力のもと、これまで人が行っていた収穫物の運搬作業をロボットが行った場合の人件費の削減効果などの検証を9月13日(水)に行います。

詳細は別添輝翠 TECH 株式会社のリリース資料をご参照ください。

3 メディア公開

(1) 実施日時： 9月13日(水) 13時～14時

(2) 実施場所： 勝沼醸造株式会社農場（勝沼醸造株式会社：山梨県甲州市勝沼町下岩崎371）

■「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」の最新情報は、やまなし未来創造インフォメーションサイトをご確認ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support.html

未来創造インフォ



【報道関係者からのお問い合わせ先】

山梨県知事政策局 リニア未来創造・推進グループ 担当：齊藤

電話：055-223-1363(内線1324) メール：saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp

輝翠 TECH 株式会社 担当：早坂

電話：090-8256-2712 メール：masaki@kisuitech.com

2023年9月

関係各位

輝翠 TECH 株式会社

農業用 AI ロボットによる収穫物運搬実証のご案内！

農業用 AI ロボットの開発・販売を手掛ける輝翠 TECH 株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役：ブルーム タミル）は、山梨県が令和3年度より実施している「TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業」に採択され農業用 AI ロボットの開発を行ってきました。このたび9月13日（水）の13:00より、報道関係者様向けに実証実験の公開を行います。コスト低減、作業負荷軽減、人手不足解消の実現へ向けた輝翠 TECH の取り組みをご覧ください。

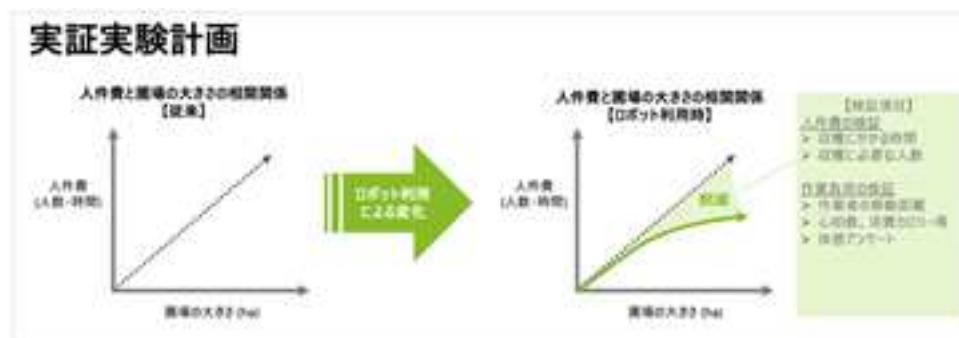


【実証実験の内容】

実証実験では、以下の検証を行います。

◎収穫期のワイン用ぶどう農場で人手による収穫作業と輝翠 TECH が開発した農業用 AI ロボットを加えて収穫を行った場合の作業時間の計測を行い、結果を比較します。これによりこれまで人が行っていた収穫物の運搬作業をロボットが行った場合の人件費の削減効果を検証します。

◎ウェアラブルデバイスを用いて人手による収穫物の運搬を行った場合とロボット利用時との消費カロリー、心拍数、歩数を計測し比較を行います。またアンケート調査により作業負荷の削減効果を検証します。



【農業用 AI ロボットの収穫物運搬実証メディア公開】

- (1) 実施日 令和5年9月13日(水) 午後1時00分~2時00分
- (2) 勝沼醸造株式会社農場
- (3) 農業用 AI ロボットによる収穫物運搬実証
- (4) その他 雨天中止 ※中止の場合は別途リリースします
- (5) メディア関係者駐車場及び収穫物運搬実証実施場所位置図



駐車場位置図



駐車場位置 QR コード



実証実施場所



実証実施場所 QR コード

【背景】

人口減少と高齢化の進展により、農業の生産現場では労働力不足が深刻化しつつあります。山梨県のぶどう栽培においても高齢農家の引退が相次いでおり、若手農家とその農地を引き継ぐことができなければ耕作放棄地となってしまいます。一方、若手農家においてもコスト削減や労働力の確保に苦勞しており、大きな課題となっています。こうした課題の解決の

ため、輝翠 TECH は農作業の自動化を目的とした農業用 AI ロボットを開発し、山梨県のぶどう農家への適用を模索してきました。まずは一番大変な作業と言われている収穫作業のコスト削減と作業負担の軽減の実現を目指しています。



輝翠 TECH の農業用 AI ロボット

※実証当日のロボットは写真とは異なる場合がございます

【農業用 AI ロボットについて】

輝翠 TECH の農業用 AI ロボットは月面探査機の研究が技術のベースとなっており、でこぼこ道や傾斜地での走破性、AI による画像解析技術により GPS の電波が届かない中山間地域でも自律走行ができること、画像やセンサーデータの収集と分析ができることを特長としております。まずは自律走行の特長を活かして収穫物の運搬作業の自動化を実現し、その後、アタッチメントによる草刈りや農薬散布作業の自動化、データ収集・分析サービスの提供を予定しております。現在、青森県のりんご農家に有償でのロボットのレンタルを行っており、2024 年以降に本格販売を目指しております。



弊社代表者のブルーム タミル

【輝翠 TECH について】

イスラエル出身でアメリカ育ちのブルームタミルが東北大学の博士課程留学中に起業準備を進め、2021年9月に創業した会社で、本社は宮城県仙台市、開発拠点は千葉県千葉市、営業拠点は青森県弘前市にあります。現在、フルタイム7名（代表含む）、パートタイム8名、インターン等を合わせて、約20名程度で活動しております。日本人のビジネスメンバー以外はエンジニアが全員外国人という国際色豊かなメンバー構成となっております。J-Startup Tohoku 選定企業でもあります。



【本件に関するお問い合わせ先】

輝翠 TECH 株式会社 担当：早坂 電話：090-8256-2712 メール：masaki@kisuitech.com